

学習日誌

10月 17日 (金)	講 師	川柳クラブ部長 13年 下村 悅夫
出席者数	56名	記録者 10年 6班 森 千恵子
講 座 名	受講生提案講座2「川柳講座」	
プログラム担当者	プログラム委員会	
時 間・場 所	13:30 ~ 15:30、第一集会室 にて	

【学習内容】

- ※ 本日の座席は1、2班をA、3、4班をB、5、6班をC、7、8班をDと4つのグループ分けにした。
- ※ 座間市川柳友の会小田切会長が見学で参加され、ご挨拶をして頂いた。

(1) 川柳についての説明

配布された資料を基に作成したスライドで、川柳についての基本的な説明を受けた。次にあすなろ生自身が句を作成し、それぞれのグループから代表句を選ぶまでの手順を説明した。

席題①「学ぶ」

席題②「自由テーマ」



上記二つの席題で30分の間に、各自2句ずつ句作する。

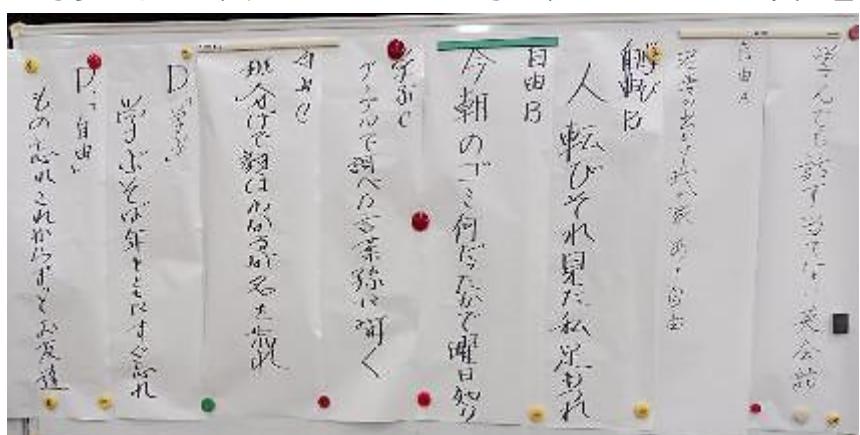
(休憩)

(2) グループの代表作と発表者の選出(30分)。

- ・グループのメンバーが自信作2句ずつを出し、テーブルに並べた句の中からグループ全員で各席題の代表作を一つ選ぶ。

(3) 披講

- ・各グループの代表者一人が発表。



質疑応答で、「席題のテーマの文字が入らなくてもいいのか」

の質問に、句の内容でそのテーマを想像出来ればいいし、「学ぶ」の「学」が入った熟語でもいいとの事。

【感想】

代表作以外にも素晴らしい作品が多数あり、選ぶのに苦労されたと思う。あすなろ生は才能あり！もう一つ、質疑応答で「俳句は自然をうたい、川柳は人間を詠むとあったが、俳句も人間を詠む」とのご指摘があり、来年2月に予定されている、「俳句講座」で違いを勉強したい。